

第5節 女性青少年課

〔総括概要〕

男女が互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現は、21世紀の我が国の社会を決定する最重要課題と位置づけられており、今日の少子・高齢化の進展や国内経済の成熟化などの社会経済情勢の急速な変化に対応する上でも緊要な課題となっている。

このような状況の中、本市では平成22年6月に、男女共同参画に関する施策の推進について総合的かつ計画的に取り組むための市内推進体制の整備を図るため、市長を本部長とする「栃木市男女共同参画推進本部」を設置し、男女共同参画社会基本法の理念に基づき、市や市民、事業者及び教育関係者が一体となって男女共同参画の推進に取り組む法的整備を図るため、平成23年3月「栃木市男女共同参画推進条例」を制定した。そして、条例第8条に基づく行動計画として「男女共同参画基本計画」を策定するため、男女共同参画推進本部、女性団体等への説明会、男女共同参画審議会等を開催し、策定の過程で様々な分野の意見が反映されるよう努めた。

また、男女共同参画社会の実現の意識づくりを図るために、男女共同参画のつどいの開催、男女共同参画週間啓発のための街頭啓発、ミニ市民のつどいの開催、出前講座の実施、男女共生大学の開設、女性団体等の育成支援などを行った。

働く婦人の家については、女性団体や講座OB自主グループに活動場所の提供を行った。また、市内に居住または市内事業所に勤務する女性等を対象に、エコ手芸講座、レカンフラワー講座、暮らしの金融講座を開講して福祉の増進に努めた。

青少年行政については、青少年の健全育成と社会参加の促進を目的として、青年団体等の育成・指導や青少年健全育成講演会、非行防止懇談会、家庭の日推進事業、模範児童・生徒の表彰などを行った。

青少年育成センターについては、街頭補導活動、少年相談業務、環境浄化活動などを重点事業として、学校、警察、青少年問題協議会、教育委員会などの関係機関・団体と連携しながら青少年の健全育成に努めた。

栃木勤労青少年ホームについては、平成18年度から指定管理者制度により管理を民間委託し、市内に居住または市内事業所に勤務する青少年を対象に、英会話・書道等の教養講座、テニス・バドミントン・エアロビクス等のスポーツ講座を開催した。また、各種サークルの育成を図るとともに、ホーム行事の開催及び相談事業の実施により、勤労青少年相互の交流並びに資質の向上、勤労青少年の福祉の増進に努めた。

勤労者体育センターについても、勤労青少年ホーム同様に民間委託し、勤労者をはじめとした一般市民の健康の保持増進とスポーツの振興を図るための施設として、その有効利用に努めた。

男女共同参画推進担当

1 各種委員会等への女性・若者（35歳未満）委員構成状況調査の実施

男女共同参画社会の形成に関する施策の推進状況を把握するため、庁内における女性と若者の審議会等への参画状況の調査を実施し、参画の拡大を図った。

- ・女性登用率 26.5%（4月1日現在）

2 男女共同参画基本計画の策定

(1) 男女共同参画推進本部会議の開催（庁議と兼ねる）

- ・実施日 9月16日（金）
- ・会場 市役所正庁
- ・内容 男女共同参画基本計画策定について
男女共同参画基本計画の策定スケジュールについて

(2) 男女共同参画推進本部検討部会の開催

- ・実施日 11月18日（金）
- ・会場 市民会館 講堂
- ・内容 男女共同参画基本計画策定の基本方針について
男女共同参画プラン(素案)概要について
- ・出席者数 59人

(3) 男女共同参画推進本部幹事会・検討部会からの意見聴取

- ・内容 男女共同参画プラン（素案）について
- ・意見聴取状況

	募 集 期 間	意見提出者数(人)	意見提出件数(件)
第1回	11月18日（金）～12月9日（金）	21	76
第2回	1月30日（月）～2月10日（金）	7	26

(4) 女性団体連絡協議会・男女共同参画自主グループ等への男女共同参画基本計画説明会の開催

- ・実施日 1月12日（木）
- ・会場 市民会館 児童室
- ・内容 男女共同参画基本計画策定の基本方針について
男女共同参画プラン(素案)概要について
- ・出席者数 29人

(5) 女性団体連絡協議会・男女共同参画自主グループ等からの意見聴取

- ・内容 男女共同参画プラン（素案）について
- ・募集期間 1月12日（木）～1月31日（火）
- ・意見提出者 4団体（45件）

(6) 男女共同参画審議会の開催

- ・実施日 3月1日（木）
- ・会場 市民会館
- ・内容 男女共同参画基本計画策定の基本方針について

男女共同参画プラン（素案）の概要について

- ・出席者数 13人

3 男女共同参画推進本部検討部会部会員研修会の実施

男女共同参画に関する意識啓発と理解を深めるため研修会を実施した。

(1) 第1回研修会

- ・実施日 5月25日（水）（男女共生大学第1回講座と兼ねる）
- ・会場 市民会館
- ・内容 講演 「なりたい自分になるために～男女共同参画のすすめ～」
講師 宇都宮大学生涯学習教育研究センター教授 廣瀬隆人氏
- ・出席者数 48人（出席率67.6%）

(2) 第2回研修会

- ・実施日 1月31日（火）
- ・会場 市民会館
- ・内容 講演 「DVの正しい理解」
講師 認定NPO法人ウイメンズハウスとちぎ理事長 中村明美氏
こども課 婦人相談員 綾川佐代子氏
- ・出席者数 57人（出席率74.0%）

4 男女共同参画啓発事業

(1) 男女共同参画週間事業

男女共同参画社会基本法の目的及び基本理念に対する理解を深め、男女共同参画社会の形成の促進を図るため、パネル展、広報紙に記事の掲載等を行った。

- ・実施日 6月23日（木）～29日（水）
- ・会場 市役所ロビー、市民会館ロビー
- ・内容 男女共同参画週間パネル展示
リーフレット配布

(2) 男女共同参画地域推進員の活動

ア 「ミニ市民のつどい」の開催

実施日	会場	内容	参加人員(人)
1月21日(土)	苺園公民館	苺園自治会ミニ市民のつどい 蔵の町子ファミリーによる紙芝居「向こう三軒両隣」	63
2月1日(水)	とちぎ蔵の街 観光館	万町一丁目・万町一丁目東自治会ミニ市民のつどい 蔵の町子ファミリーによる紙芝居「向こう三軒両隣」	42

イ 自主研修会の開催

- ・実施日 6月26日（日）
- ・会場 視察研修に向かう車中
- ・内容 ビデオフォーラム「日常の人権I」
- ・参加人数 9人

ウ 男女共同参画週間の街頭啓発

・啓発物資の配布 参加人員 20人

実施日	会場	参加人員(人)
6月23日(木)	イオン栃木店	13
	フジマート都賀店	3
6月26日(日)	とりせん藤岡店	4

エ 視察研修の開催

県内他団体における取組を参考として今後の啓発活動に役立て、本市の更なる男女共同参画の推進を図るため、栃木県女性団体連絡協議会、栃木県、財団法人とちぎ男女共同参画財団主催のとちぎ県民のつどいに参加した。

- ・実施日 6月26日(日)
- ・会場 とちぎ男女共同参画センター
- ・内容 地域推進員グループ・団体等の発表
記念式典
講演 「人間みんな同じじゃないか」
講師 田辺鶴瑛氏

・参加人員 13人

(3) 男女共同参画のつどい開催

男女共同参画社会づくりを目指し、男女共同参画のつどいを開催した。

- ・実施日 6月25日(土)
- ・会場 大平文化会館
- ・内容 第1部 記念式典、男女共同参画標語・写真コンテスト表彰
第2部 テーマ 「知ってますか デートDV」
寸劇とおしゃべりティータイム
講師 認定NPO法人「サバイバルネット・ライフ」
代表 仲村久代氏

・参加人員 130人

(4) 男女共同参画のつどいに併せての啓発事業

「男女共同参画」に関する標語と写真の募集を行い、記念式典にて表彰した。

区分		応募数(点)	入賞
標語	小学生の部	634	最優秀賞1点、優秀賞5点、優良賞10点、佳作6点
	一般の部	8	佳作3点
写真		11	最優秀賞1点、優秀賞2点

(5) 男女共同参画推進事業の広報

市広報紙、市ホームページ、ケーブルテレビでの広報を行った。

5 北関東男女共同参画会議の開催

男女共同参画社会の実現を目指すため、群馬県・茨城県・栃木県の有志が一堂に会して学習し、共に連携して行動することを目的に、栃木市・北関東男女共同参画会議inと

ちぎ実行委員会・男女共同参画社会の実現を目指すうつのみや市民会議の共催により、「北関東男女共同参画会議inとちぎ」を開催した。

- ・実施日 7月10日(日)
- ・会場 市民会館
- ・内容

区 分		参加人員(人)
座談会「地域・ひと・男女共同参画」		153
分科会	第1分科会「共に考える防災」	62
	第2分科会「あなたにとって、男女共同参画って何ですか？」	36
	第3分科会「とも生き、とも生みを求める」	50
現地見学会「とちぎの街並み散策」		50

6 東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力(集中)相談事業の周知

内閣府では「東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力(集中)相談事業」として、長引く避難生活や原子力発電所の事故に伴う不安や悩み、配偶者等からの暴力(DV)などの相談を受けるため、『女性のための電話相談・ふくしま』を開設し、その窓口について3月から市ホームページにおいて周知した。

7 栃木県次世代人材づくり事業への派遣

県民一人ひとりが地域や社会の担い手となり、力を発揮することができる「人づくり」を推進するため、人間性豊かで、地域に貢献する青年リーダー及び女性リーダーの育成を県と市町が共同で実施する次世代人材づくり事業への参加について、3人を派遣した。

- ・研修日程 8月20日(土)～2月4日(金)
- ・内 容

区 分	実施形態	実施日
基礎研修	青年・女性リーダー合同実施	8月20日(土)、9月4日(日)
応用研修	青年リーダー	9月24日(土)、10月15日(土)～10月16日(日)、10月下旬～12月上旬、12月10日(土)、1月21日(土)
	女性リーダー	9月18日(日)、10月2日(日)、10月13日(木)～10月15日(土)、11月6日(日)、12月11日(日)、12月25日(日)、1月21日(土)
研修成果発表会	青年・女性リーダー合同実施	2月4日(土)

8 日本女性会議への参加

市内の各女性団体等において活動している市民が、女性団体及びリーダーとしての役割や活動の現状を学ぶとともに、協調と連帯意識を持って、男女共同参画社会の実現に向けた活動を展開していくために、日本女性会議へ参加した。

- ・期 間 10月14日(金)～16日(日)(3日間)

- ・開催地 島根県松江市
- ・参加者数 7人

9 男女共同参画広報紙の発行

男女共同参画について市民の理解と関心を深めるため、男女共同参画広報紙「きららとちぎ（第2号）」を、男女共同参画地域推進員の協力により編集し、3月に発行し、市内全世帯に配付した。

10 男女共生大学の開設

男女共同参画社会の実現に向け、共に学び考え、それぞれの活動を通して、自分らしく生き生きと活躍、行動できる力を身につける人材を育成するため男女共生大学を開設した。

- ・受講者数 62人

(1) 学習プログラム

ア 第1回

- ・日 時 5月25日（水） 午後6時30分～8時10分
- ・学習テーマ 開講式
講話 「なりたい自分になるために～男女共同参画のすすめ～」
講師 宇都宮大学生涯学習教育研究センター教授 廣瀬 隆人 氏
- ・会 場 市民会館
- ・参加者数 41人

イ 第2回

- ・日 時 6月25日（土） 午後1時～3時30分
- ・学習テーマ 公開講座「とちぎ男女共同参画のつどい」
第1部 男女共同参画標語・写真コンテスト表彰
第2部 デートDVに関する寸劇&おしゃべりティータイム
- ・共 催 おおひら男女共同参画を進める会、栃木市男女共同参画地域推進員
- ・会 場 大平文化会館
- ・参加者数 18人

ウ 第3回

- ・日 時 7月16日（土） 午後2時～午後3時30分
- ・学習テーマ 家庭教育学級との共催による公開講座
講話 「感情はコントロールできる！～自信を育てる心理学入門」
講師 親学カウンセラー&インストラクター・アドラー心理学カウンセラー
論理療法士補 鈴木 稔 氏
- ・会 場 市民会館
- ・参加者数 24人

エ 第4回

- ・日 時 7月21日（木） 午後6時30分～8時
- ・学習テーマ はつらつ健康教室 「スローフィットネスで心も体も笑顔で元気」

講師 健康運動指導士 原 美穂子 氏

- ・会 場 市民会館
- ・参加者数 26人

オ 第5回

- ・日 時 8月4日(木) 午後2時～4時、6時～8時
- ・学習テーマ 体験学習 ソバ打ち「楽しく作ってみよう!手打ちソバ」
手打ち蕎麦道場講師 黒須 祐子 氏
助手 古口 和子 氏、山中 悦子 氏

- ・会 場 市民会館
- ・参加者数 25人

カ 第6回

- ・日 時 8月18日(木) 午後6時30分～8時
- ・学習テーマ とちぎ県政出前講座(H22年県次世代人材づくり事業研修成果発表を含む)
しゃべり場

講師 県民生活部青少年男女共同参画課職員

H22年県次世代人材づくり事業参加者 富田恵加氏、森田信子氏

- ・会 場 市民会館
- ・参加者数 24人

キ 第7回

- ・日 時 9月3日(土) 午前10時～11時30分
- ・学習テーマ 講話 「共に老いを生きる～介護の現場から～」
講師 心理カウンセラー 南條 珠江 氏

- ・会 場 市民会館
- ・参加者数 23人

ク 第8回

- ・日 時 9月15日(木) 午後6時30分～8時10分
- ・学習テーマ 講話 「男女共同参画はまず家庭から」
講師 野木町教育委員会教育長 中野 晴永 氏

閉講式

- ・会 場 市民会館
- ・参加者数 29人

(2) 運営ボランティアの活動

男女共生大学の受講生自らが大学の運営に主体的に携わることにより、男女共同参画社会の実現に向けた人材育成を図った。

- ・運営ボランティア 8人
- ・活動の内容 当日の運営、記録集・広報紙の編集、学習プログラムの作成
その他
- ・運営委員会の開催 年3回 運営ボランティア活動内容の検討ほか

11 出前講座の実施

実施日	会 場	内 容	講 師	参加人員(人)
7月29日 (金)	寺尾公民館	寺尾地区女性学級研修会 「新しい自分との出会い」 ～男女共同参画社会の実現を目指して～	市男女共同参画推進指導員	33
8月2日 (火)	太平南中学校	職員研修「男女共同参画とは」 「新しい自分との出会い」 ～男女共同参画社会の実現を目指して～	市男女共同参画推進指導員	23

12 女性団体活動支援

(1) 栃木市女性団体連絡協議会の活動支援

実施日	会 場	事 業 名	参加人員(人)
5月25日(水)	市民会館	定期総会 研修会「リラックス体操」	77
6月8日(水)	足利市	視察研修会 ココ・ファーム・ワイナリーほか	38
7月26日(火)	藤岡福祉センター	第3回栃木市各地域女性団体連絡協議会 正副会長会議	11
8月23日(火)	栃木文化会館	研修会 「サマーコンサート パートⅢ」	248
8月30日(火)	都賀の里 ふるさとセンター	栃木市各地域女性団体連絡協議会交流会 「各地域事業発表と昼食交流」	26
2月18日(土)	市民会館	2012とちぎ市民環境まつり 栃木市消費生活展	延べ1,000
2月22日(水)	市民会館	第4回栃木市各地域女性団体連絡協議会 正副会長会議	9

(2) 自主学習グループへの活動支援

自主学習グループに対して、会議室の提供、男女共同参画に関する情報提供、グループの活動に対する指導・助言等を行った。

・支援対象グループ

ういめんず・栃木、蔵の町子ファミリー、栃木市女性史研究会「あいの会」、
栃木市高齢社会を考える「パールの会」、きらきらの会(旧とちぎつばさの会栃木支部)

13 働く婦人の家活動状況

(1) 活動の概要

活動内容	参加者(人)	構成比率(%)
主催事業	26	0.2
自主グループ	7,211	61.1
他 団 体	4,560	38.7
計	11,797	100.0

(2) 活動区分

活動内容	参加者(人)	構成比率(%)
勤労婦人	4,546	38.5
勤労者家庭婦人	6,003	50.9
その他	1,248	10.6
計	11,797	100.0

(3) 月別活動状況

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
人数	1,034	1,042	1,046	928	825	980	1,008	988	954	922	1,073	997

(4) 曜日別活動状況

(単位：人)

曜日	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
人数	1,820	5,136	552	1,231	2,181	877	-

(5) 年齢別活動状況

(単位：人)

年齢	30歳未満	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
人数	331	208	107	3,161	7,990

(6) 事業実施状況

ア 主催講座

講座名	エコ手芸講座	レカンフラワー講座	暮らしの金融	計
回数(回)	1	1	1	3
延べ人数(人)	12	5	9	26

イ 相談事業

平成19年度より市民相談(DV関係についてはDV担当相談員)に統合。

・実施日 月曜日～金曜日(午前9時～午後4時)

ウ 自主グループ等

区分	回数(回)	延べ参加人数(人)	備考
書道	49	367	2グループ
太極拳	36	522	
ヨーガ	40	216	
卓球(ラージ)	147	1,808	3グループ
押し花	24	103	
茶道	48	335	
フラダンス	24	250	
リズム体操	36	3,460	
老人介護(1)	30	150	特別養護老人ホームで活動
計	434	7,211	

エ その他

区 分	人数(人)	備 考
団 体 利 用	4,560	消費生活センター利用等
図 書 利 用	8	
計	4,568	

青少年担当

1 青少年行政関係

(1) 青年団体の育成

市内青年団体等の連携と協調を図るとともに、社会参加活動を通し、青年の交流とリーダーの育成に努めた。

ア とちぎユースネットワークの活動

実施日	会 場	内 容	参加人数(人)
通年	栃木勤労青少年ホーム	月1回 定例会開催	-
6月23日(金)	かかしの里	大平クリーンアップ作戦	8
6月27日(月)	栃木勤労青少年ホーム	平成23年度総会	10
8月28日(日)	あゆみ学園	あゆみ学園納涼祭	14
12月23日(金)	栃木地域内の家庭	サンタの宅配便	10
3月4日(日)	市民会館	国際交流協会ふれあいの集い	14

(2) 青少年問題協議会

- ・理事・幹事会、総会の開催
- ・青少年健全育成講演会及び非行防止懇談会の開催(各中学校及び子ども会育成会)
- ・「家庭の日」推進事業
- ・青少年対策(とちぎ心のルネッサンス運動の一環として、青少年の非行・被害防止全国強調月間、子ども・若者育成支援強調月間の推進)
- ・児童生徒対策(模範児童・生徒の表彰)
- ・啓発活動(広報とちぎの7月・11月・3月における啓発記事の掲載及び7月に大型店舗前における街頭啓発キャンペーン)

2 青少年育成センター

青少年育成センター活動状況

少年の非行防止と健全育成を期するための街頭補導活動、少年相談業務、啓発広報、環境浄化活動等事業の推進に努めた。

(1) 街頭補導の実施

青少年育成センターの街頭補導勤務計画にしたがい、年間300回、延べ904人の少年補導員が街頭補導に従事し、405人(内女子225人)の少年を不良行為等により補導、青少年の非行防止と健全育成に努めた。

街頭補導実施状況(栃木市全体)

区 分	補導実施状況	
	回数(回)	少年補導員(人)
昼 間	153	406
夜 間	147	498
計	300	904

(2) 少年相談

毎月第2、第4金曜日は、市民生活課で実施している総合相談の一部として実施した。また、青少年育成センターでは随時、少年相談業務を行い、22件の相談を受理し問題解決を図った。

平成19年2月19日より開設した「いじめ相談電話」は、青少年相談員が担当しており、平成23年度の相談件数は2件であった。

少年相談状況(いじめ相談2件を含む)

・相談者別内訳

(単位:件)

区 分 内 容	相 談 者						計
	少年本人	保護者	その他 親 族	教 師	雇 主	その他	
教育相談	6(6)	17(16)	1(1)	-(-)	-(-)	-(-)	24(23)
児童福祉相談	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
補導相談	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
計	6(6)	17(16)	1(1)	-(-)	-(-)	-(-)	24(23)
上記のうち電話	4(2)	16(16)	1(1)	-(-)	-(-)	-(-)	21(21)

※()内は、相談者のうち女性の数。

・相談対象者別内訳

(単位:件)

内 訳 内 容	対 象 少 年								計
	未就学	小学生	中学生	高校生	大学生	各種学生	有職者	無職者	
教育相談	1(-)	7(3)	7(4)	2(-)	-(-)	-(-)	-(-)	7(6)	24(13)
児童福祉相談	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
補導相談	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
計	1(-)	7(3)	7(4)	2(-)	-(-)	-(-)	-(-)	7(6)	24(13)
上記のうち電話	1(-)	7(3)	7(4)	1(-)	-(-)	-(-)	-(-)	5(5)	21(12)

※()内は、相談対象者のうち女性の数。

(3) 有害環境浄化活動

ア カラオケボックス、レンタルビデオ店、ポルノ雑誌販売店等の立入調査を実施し、指導を行った。

栃木県青少年健全育成条例に基づく立入調査（単位：箇所）

実施施設	調査数
自販機	2
ビデオ、DVD販売・レンタル	-
カラオケ、ボウリング場	-
コンビニ	-
複合カフェ	2
ゲームセンター	-
書店、古本店	3
合計	7

イ 立入調査に合わせて携帯電話販売事業者に対し、契約者及び使用者の年齢確認の徹底や、インターネットが利用できる端末に対してのフィルタリングサービスの情報提供について協力を依頼した。

ウ 少年補導員が市内公衆電話ボックス等の有害広告物（63枚）、違反広告物（18枚）の排除を行った。

(4) 広報、啓発等

7月に「青少年の非行・被害防止全国強調月間」、11月に「子ども・若者育成支援強調月間」の広報啓発のため、立看板を市役所等12か所に掲出し、周知を図った。

また、広報とちぎへの掲載、ポスターの掲示、啓発用品・チラシ等の配布による広報啓発を行った。チラシは市内小中学校の児童生徒を通じ家庭に配布した。

(5) 少年補導員の補導技術及び知識の向上を図るため、研修会を開催した。

少年補導員研修会

実施日	会場	内容
5月11日 (水)	市民会館	講話 「栃木市少年補導員として」 講師 栃木市少年補導員会（現栃木市とちぎ少年補導員会）会長 野原佑介 氏
7月7日 (木)	市民会館	講話 「管内の少年犯罪発生状況と少年補導活動について」 講師 栃木警察署生活安全課課長 松原浩志 氏
8月23日 (火)	野田市青少年センター (千葉県野田市)	先進地視察研修及び情報交換会
11月17日 (木)	皆川公民館	講話 「育ち」 講師 国立鬼怒川学院調査課課長 板垣辰彦 氏

(6) 青少年育成センター運営協議会の開催

青少年育成センターの運営について審議するために運営協議会を開催した。

- ・実施日 2月21日（火）
- ・内容 平成23年度青少年育成センター運営報告
平成24年度青少年育成センター運営計画
- ・参加人員 6人

3 栃木勤労青少年ホーム利用状況

(1) 概要

(単位：人)

区分	男	女	合計
ホーム利用登録者数	115	286	401
ホーム利用者総数	6,163	10,867	17,030

(2) 月別利用状況

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
男	464	565	650	608	461	531	574	495	428	422	481	484
女	781	897	1,025	883	853	976	972	841	777	929	1,013	920
合計	1,245	1,462	1,675	1,491	1,314	1,507	1,546	1,336	1,205	1,351	1,494	1,404

(3) 年齢層別利用状況

(単位：人)

年齢	15～19歳	20～24歳	25歳～
男	3	6	6,154
女	1	445	10,421
合計	4	451	16,575

(4) 曜日別利用状況

(単位：人)

曜日	日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
男	798	1,041	711	1,018	1,010	603	982
女	842	1,406	1,803	1,744	2,357	1,585	1,130
合計	1,640	2,447	2,514	2,762	3,367	2,188	2,112

(5) 講座開講、ホーム行事、クラブ活動状況

ア 定期講座

講座名	定員(人)	延べ実施回数(回)	延べ受講者数(人)	開催曜日
みんなの英会話	20	24	274	月
バドミントン	20	24	310	火
書道	20	9	27	火
エアロビクス	30	24	428	火
たのしい料理	12	20	184	水
リラックスヨガ	20	27	496	水
木曜エアロビクス	25	26	535	木
ピラティス	25	15	281	木
ビギナーズテニス	20	19	258	木
レッツコーラス(合唱)	20	27	357	金
金曜エアロビクス	25	24	331	金
フラダンス	20	24	273	土
ソフトバレーボール	20	19	344	日
合計	277	282	4,098	

イ 就職出張相談

就職等相談

- ・実施回数 43回
- ・相談者数 9人
- ・述べ相談者数 166人
- ・内 容 日常の悩みや社会生活に関する相談・助言

ウ 交流事業等

行事概要	実施日	参加人数(人)	実施場所
3rdサマーイベント	8月6日(土)	59	栃木勤労青少年ホーム
設立45周年記念交流まつり (栃木・古河青少年ホーム共催)	11月19日(土)	82	

エ クラブ活動

クラブ名	活動曜日	活動回数(回)	活動延べ人数(人)
バレーボール遊人会	月	51	765
スポーツパラダイス	水	50	750
とちぎユースネット	木	75	484
バドミントン	火・日	68	680
J Cバンド	木	71	1,065
ベリーダンス	不定期	116	1,030
着付けクラブ	金	39	310
ブレイクダンス	土	46	244
S S O	土	42	615
街角セッション	土	11	165
ういすてりあ	日	43	880
インド古典舞踊	不定期	287	289
フラダンスクラブ	土	30	224
合 計		929	7,501

4 勤労者体育センター利用状況

(1) 利用者総数(単位:人)

市内居住者	40,902
市外居住者	41
合 計	40,943

(2) 月別利用状況

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
市内	3,617	3,614	3,603	3,186	2,616	3,320	3,427	3,518	3,436	3,433	3,647	3,485
市外	6	7	4	7	3	1	4	-	5	1	1	2
合計	3,623	3,621	3,607	3,193	2,619	3,321	3,431	3,518	3,441	3,434	3,648	3,487

(3) 曜日別利用状況

(単位：人)

曜日	日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
利用者数	3,974	6,071	7,623	6,243	4,789	5,789	6,454

(4) 種目別利用状況 (団体利用のみ)

(単位：人)

種目	バレーボール	バドミントン	バスケット	卓球	その他
利用者数	3,939	1,667	9,461	13,493	11,716